

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	里庄町放課後等デイサービス事業所「ぼかぼか」		
○保護者評価実施期間	令和6年9月9日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 22人
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもおよび保護者とのコミュニケーション	表情や声のトーンの違いに気づけるよう、日頃から子どものかかわりを丁寧に行っている。気になることは職員間で情報共有と対応策の検討を行っている。また、保護者のお迎え時には対面で今日の出来事を伝え、保護者との信頼関係を築いている。	職員間で日々の支援を振り返る、事業所内外の研修に参加する等による支援力の向上。
2	子どもが安心・安全に使える環境の提供	口頭だけでなく、写真や絵カード等を用いて視覚からも分かりやすい表示を行っている。	子どもの様子を確認しながら、正しく理解できているか、どこが分かりにくかったかの振り返りを行う。子どもが活動を行う中で危険な箇所気づいた場合は、職員間で共有し、改善するための対策を講じる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと活動する機会が、一部の放課後児童クラブしかない。	事業所との連携体制が取れておらず、子どもの交流の機会を作れていない。	町内すべての学童クラブとの交流会を行い、連携体制の構築を図る。その中で、長期休暇等を活用し、子ども同士が関わられる機会を作る。
2	きょうだい児への支援が行えていない。	職員の経験が浅く、きょうだい児支援を行うスキルが十分でない。	きょうだい児支援の研修に複数職員で参加し、きょうだい児への理解や支援の手法を獲得する。
3			